



日本の企業にとって “グローバル”を当たり前とするには何が必要か



グラマシー エンゲージメント グループ株式会社

代表取締役

ブライアン・シャーマン

Bryan Sherman

「内」と「外」を意識しながら二本の足を 両方に置くことそれがグローバルマインド

私が訪問する企業の中には、こうおっしゃるところがあります。「私たちはグローバルではない。ドメスティック企業ですから」「私たちは日本人だけの会社。だからグローバル企業ではない」このような言葉を聞くと違和感を覚えます。教育の影響なのか「日本は島国だから、そこで生まれ育った私達は、海外の人とは違うのだ」という刷り込みが、日本人にされているように思います。それは企業の方も同じで「私達はグローバルではない。ドメスティックだから海外のことは分からない」とおっしゃる方が多く見受けられます。また日本企業の人事担当者の多くは「我々日本人は…」と言う。つまり内と外を無意識のうちに分けています。そして同じようにドメスティックとグローバルを分けています。なぜこれに疑問を感じるかというと、本社の事は国内外の社員全員を見る必要があるからです。グローバル化が進んでいる企業の場合、社員は地球上の各地にいます。そのような視点は人事をはじめ、本社全体に不可欠なのです。私にとっては、今いる東京や日本がすでにグローバルなのです。グローバル (Global) という言葉の原型はグローブ (Globe) つまり地球です。日本は地球の外ではなく、地球上にありますよね。だから皆さんの中にあるドメスティックとグローバルの境界線をもう少しグレーにする必要があると思います。グローバルという言葉が死語になってほしいとすら、私は思っています。世界中の至るところに違いは存在します。国によって法律は違いますし、習慣も食べ物も違います。違いが厳然として存在するからこそ、それらの違いを乗り越えるための意識と感覚を身に付けることが重要だと私は思っています。

転載：My Eyes Tokyo (www.myeyestokyo.jp/51805)

ブライアン・シャーマン プロフィール

米国ニューヨーク市にて日系企業を対象に人事コンサルタントとして従事後、米国住商情報システム人事総務部長。在米日系企業が抱える人事の現場を内と外の視点で支える。来日後、株式会社ファーストリテイリング日本本社でのグローバル人事業務に参画。グラマシーエンゲージメントグループ株式会社を設立。多角的な視点で日本企業のグローバル化を支援。米国ニューヨーク州出身、米国Williams College卒 早稲田大学トランスナショナルHRM研究所 招聘研究員

グラマシー エンゲージメント グループ株式会社



〒105-6027

東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー 27階

TEL:

03-6751-3526

E-Mail:

info@gramercyengagement.com

Website:

www.gramercyengagement.com

| 会社ウェブサイト

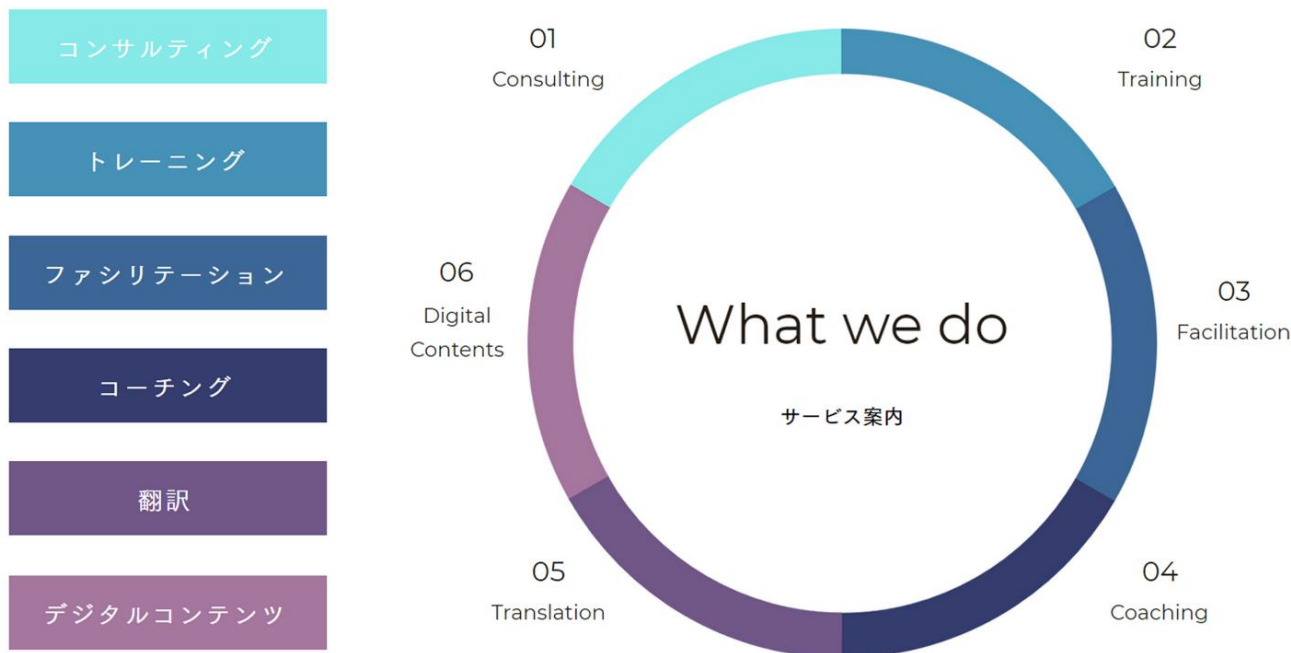
www.worklifejapan.com

| Work Life Japan オンライン講座



グローバル化成功のカギは人と人の繋がりにある

グラマシー エンゲージメント グループ株式会社は
グローバル化を推進する企業様の水先案内人となり、日本の未来を応援します。



メディア紹介



人事実務（産労総合研究所）
コラム連載



クーリエジャポン（講談社）
インタビュー記事掲載



月刊グローバル経営（日本在外企業協会）
対談記事掲載



朝日新聞GLOBE「評価なんてぶっとばせ」
7月7日刊行 インタビュー記事掲載

Your Work. Your Life. Your Japan!

Work Life Japan

赴任前研修オンライン講座
働き方について考える動画 配信中

www.worklifejapan.com



日本での働き方、日本での生活を考える Work Life Japan 始めました。